

Handsome



挑戦

Handsome CONTENTS March 2013 No.293

TOPICS 第39期 次年度会長決定！

《特集》2月例会開催「明日はわが身！被災の知識と蓄え」／中央会OBを訪ねて 第14期御卒会 日成工業(有)代表取締役 和田秋男氏

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 河津 慎二 ◆編集責任者／担当 副会長 牧田 継夫 ◆制作・編集 第38期メディアコミュニケーション委員会／委員長 長谷川 貴久

第39期 次年度会長決定！

渡辺一徳 次年度会長のプロフィール

【氏 名】渡辺 一徳

【生 年 月】昭和46年1月生まれ 42歳 山羊座 A型

【所属企業・役職】株式会社大友自動車 代表取締役

【入会年度】平成10年度(平成11年6月入会)

【中央会経歴】平成14年度 副委員長／平成16年度 委員長／平成17年度 県出向／平成18年度 県監事／平成21年度 専務理事／平成22年度 副会長／平成24年度 監事

【趣 味】音楽鑑賞(洋楽邦楽問いませんが主にロック音楽)、野球観戦(主に阪神戦)など

【座右の銘】熟慮断行



この度、鳥取県西部中小企業青年中央会 第39期会長に承認頂きました渡辺一徳です。どうぞよろしくお願ひ致します。2月の臨時総会での承認以降、今現在は「もう後戻りは出来ない。前に向かって進むしかない！」という不安と期待が入り混じりつつも、徐々にではありますが責任と自覚が芽吹いて来ている、というのが正直な心境です。

私は青年中央会に入会して今期が14年目となります。気づけば現役会員の中では4番目に年数が長い古株会員となっております。この間、多くの会員そしてOB先輩に大変お世話になりました。おそらく現役会員の中で「一番お世話になった会員の一人」といっても決して過言ではないと自負しております。それだけお世話になったのであれば卒会まであと3年、何かしらの形で青年中央会にお返しできないだろうか、と常々考えていたときに偶然にも次年度会長の打診を受けました。少し考えましたが、家族や会社の支援もあり、これが一番のお返しになるかもしれない、という事で引き受けさせて頂く決意を固めました。

これから来期のスタートに向けて色々準備を進めて参ります。私も含めて現役会員全員が「やっぱり青年中央会に入っていて良かったなあ」と実感し、達成感の味わえる会作りを一番に目指して行きたいです。至らぬ点など有るかと思存しますが、皆様のご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願ひ致します。

38期の活動もいよいよ後半戦に差し掛かりました。引き続きご協力の程、よろしくお願ひ致します。

先輩OBより「お祝いと激励」

土井 一朗OB(第28期ご卒会)

まずは新会長の承認おめでとございます。私の渡辺君のイメージは、「ハンサムで、何をやっても頑張り屋」でしたが、卒会後会々と、10年前とは大きく変わっていますね。一番の思い出は北京に行った私の卒会旅行でした。卒会生を大事にしてくれ、とても楽しかったです。

会長経験者としての助言ですが、会社からも選ばれるような会にして欲しいし、会社へ持って帰れるような勉強もしてほしいと思います。また、この所決算書が読めない役員が4割もいると聞かすが、そういった即戦力になる勉強をしてもいいのではないだろうか。

活動は、仲間を信じれば大抵の事はできます。次世代の幹部を育てる会として中央会が育ててくれることを期待しています。頑張ってください。

三嶋 雄二OB(第31期ご卒会)

渡辺君。次期鳥取県西部中小企業青年中央会の会長就任おめでとございます。

いずれ渡辺君は会長になる日が来ると思っていましたが、ついに到来しおめでたい気持ちでいっぱいです。中央会に平成11年に入会され、多くの経験と実績と全体を包み込むような雰囲気を持ち合わせていることが会長に推薦された要因ではないかと思存します。

会長は誰でもなれるものではありません。たった一年間の任期です。持ち前の行動力と明晰な頭脳にて青年中央会が益々発展することを期待します。くれぐれも健康には留意し体を壊されないように。“頑張れ”

中央会徒然

松田幸紀副会長

「宿命に生まれ、運命に挑み、使命に燃える」。仕事柄、年度末の近づくこの時期が一年の内が一番忙しい時期となります。そして忙しさに追われると往々にして、いま自分のやっている事の意味(目的)が分からなくなる事があります。そんな時によく思い出すのが冒頭の言葉です。よく、人の命には、宿命・運命・使命の三つの命があるとされます。「宿命」とは、命が宿る時と場所は自分では選べないということです。「運命」とは、命を運ぶのは自分で、人生をどう切り開いていくかは自分で決めれるということです。そして、「使命」とは、自分の命をどう使うか、人生における自らの役割です。

私はこの世に生を受けた以上は、社会に対し果たさなければならぬ役割があると考えています。自らの果たす役割(使命)が見つければ、自分がやらなければならない事も明確なものとなるでしょう。

いま私たちは人生半ばに差し掛かり、社会的にも責任を担っていかねばならない年齢となりました。ここで自らの使命について、あらためて考えてみることも大切な事ではないでしょうか。そして使命感を持ち「挑戦」し続けることが、人生において最も幸せなことで、自らの存在価値(意義)を見い出すことにも繋がるのではないのでしょうか。

	緒方 恒人 O型
	<small>(教育対策検討委員会)</small> 株式会社大友自動車 代表取締役 〒683-0033 米子市皆生温泉3-17-7 TEL 34-1111 FAX 34-1118 (KT) 090-5268-6040 (EM) t-ogata@toukouen.com S53.04生

〈コメント〉
はじめまして、新入会員の緒方です。本社が広島にありまして、山陰に来て2年がたちます。地域の人の人柄、海・山の自然の恵みなど環境が素敵なおところだと感じています。もっとこの地域に根付いた事業がしたいと思い入会させて頂きました。皆様のご指導の程宜しくお願ひ申し上げます。

	倉光 史朗 O型
	<small>(道州制問題検討委員会)</small> 住友生命保険相互会社 米子東法人支部 支部長 生命保険業 〒683-0852 米子市米原6-1-7 住友生命ビル4F TEL 32-1268 FAX 22-1157 (KT) 080-1946-0977 (EM) sirou_kuramitsu@amsunitomo.life.co.jp 濱田(修) S48.01生

〈コメント〉
この度、新しく入会させていただきました倉光史朗と申します。小・中・高・大学と硬式野球部で頑張ってきました。また、社会人野球においては、鳥取キタロウズの外野手として、周りの方々に支えられて、好きな野球を続けさせていただきました。中央会でも、元氣満ち！いろいろなことを吸収して、大きく成長していく自分であり続けたいと思います。

3月役員会報告

2月役員会が平成25年3月1日(金)米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。
 ・2月例会報告の件 ・3月例会開催の件
 ・4月例会開催の件 ・その他
 *なお、詳細につきましては、各委員長までご参照下さい。

3月例会のご案内

と き：平成25年3月14日(木) 18:30~21:00
 ところ：米子コンベンションセンタービッグシップ 小ホール
 内 容：講演会 「生きる力を身につける」
 講 師 元開星高校野球部監督 野々村直通氏
 担 当：第38期 教育対策検討委員会

会長ひろ！



今期がスタートして、早いもので8回目の例会が終わりました。さまざまな例会を開催して、それぞれの会員が勉強や刺激になったかと思存します。今回の2月例会は地域防災をテーマとする政治行政委員会、今年度2回目の開催となりました。例会上映された東日本大震災のDVDを観て、災害による悲惨な光景に恐ろしさとショックを改めて感じました。約2年前のことなのですが、あの恐ろしさが徐々に消えていったのだと痛感し、いつまでもこの恐ろしさを忘れないように、このような上映は必要だと思いました。また、この震災の色々なデータも勉強しましたが、特に気になったのは東日本大震災の時は救助された方の98%が、家族や隣人の方に助けられたということです。根本的に何かの災害があった場合、救助機関等がいくら頑張っても、救助出来るのは2%程しかありません。自分自身や身近な人と防災対策をしっかりしていくことが必要です。今回、我々が例会で勉強したことを生かし、家族や会社、自分の住む地域に対し、防災対策の重要性を訴え、行動することが一番重要なことです。

2月度委員会報告

メディアコミュニケーション委員会
 平成25年2月6日(水) 19:00~ 場所:㈱ラフィール
 議題／・役員会報告 ・ハンサム・中央会TV
 ・新入会員オリエンテーション ・39期会員手帳について

政治行政委員会
 平成25年2月5日(火) 19:00~ 場所:レストランぶどうの木
 議題／・役員会報告 ・2月担当例会について
 ・会員拡大 ・その他

チャレンジ委員会
 平成25年2月7日(木) 19:00~ 場所:鳥取県立武道館 研修室2
 議題／・役員会報告 ・4月担当例会について勉強会
 ・会員拡大 ・その他

教育対策検討委員会
 平成25年2月7日(木) 19:00~ 場所:米子ニューアーバンホテル
 議題／・役員会報告 ・3月担当例会について
 ・会員拡大 ・その他

道州制問題検討委員会
 平成25年2月13日(水) 19:00~ 場所:米子コンベンションセンター
 議題／・役員会報告 ・松江Y.E.G交流会について
 ・道州制問題について ・その他

総務・40周年事業準備委員会
 平成25年2月8日(金) 19:00~ 場所:米子ニューアーバンホテル
 議題／・役員会報告 ・新年例会反省について
 ・OB交流会について ・その他

平成24年度 鳥取県中小企業青年中央会 ビジネス交流事業

と き：平成25年3月30日(土) 12:45~19:15
 ところ：米子コンベンションセンター 2F国際会議室
 内 容：第1部 企業交流会 企業展示・企業PR
 第2部 講演会「地域に根ざした企業づくり」
 講 師：(有)石野石材工業所 平井氏、㈱エナテクス 牧野氏、
 ㈱みどり商事 市位氏

編集後記

先日、米子ソウル便を利用してソウルへ行ってきました。グループ旅行だったのでキャッシュバックもありました！第38期も後半に入り、そろそろ委員会研修旅行の話題も出てくる頃かと思存します。米子ソウル便を使ったプランも検討されてみてはいかがでしょうか。(徳尾)

2月例会開催「明日はわが身！滅災の知識と蓄え」

日時：平成25年2月18日(月) 場所：ホテルサンルート米子 担当：政治行政委員会



冒頭河津会長が、「大人になると、1年が過ぎるのを早く感じませんか？」と、会員に問いかけながら「脳の活性化」について話された。

小学校・中学校の頃「いつまで経ってもまだ学生。」と感じられたのは、たくさんの事を学習し記憶していくため。常に脳が活発な状態である為、日々の生活が長く感じられたのである。

一方、大人になると、普段使っている一部の脳しか働かないため、月日が経つのを早く感じてしまうのである。

そうならないためにも、物事を違った角度から見る感覚を身につけるように意識を高めていきたい。と述べられた。

続いて、新入会員へバッジ授与が行われ、緒方恒人会員・倉光史朗両会員は、河津会長と固い握手を交わし、「米子を愛し、地域に貢献できるよう頑張っていきたい。」と「気合」と「期待」を感じさせる挨拶を述べた。

続いて、次年度会長を決める臨時総会が招集された。

後藤太良副会長の議事進行により満場の拍手のもと39期会長として渡辺一徳会員が承認された。

委員長タイムでは、教育対策検討委員会の白石委員長より、「新割りにみせられて」というテーマで、ご自身で立ち上げられた新割り集団「ランバージャックス米子」の活動について語られた。

東日本大震災以降、ずっと考え続けてきた「生きる」とは何か？どう豊かに生きて行くか？

このことを新割を通して、仲間とのコミュニケーション、そして技術の伝承というかたちで学んだ事で、自然に対する感じ方も変わった。

これら、生きぬく力を身につけるひとつの方法だと思ふ。と熱く語られた。

2月例会は「地域防災」というテーマで企画され、講師に、鳥取県危機管理局危機対策課・情報課・危機管理・訓練担当 小林由己氏。

地域防災力担当 大塚尚生氏。をお招きし、第1部では、東日本大震災の津波の映像を見ながら、災害時の救助の実態や、問題点。防災・減災対策の基本としての自助・共助・公助を確立するための地域防災活動についての講演。2部では、AED【自動Automated 体外式External除細動器

Defibrillator】の使用法。そして、ブレインストーミング(アイデアを「グループ」で生み出すこと)を行い、地域防災力とは何か。また、避難所での生活を想定し、災害後2日目に配られた非常食についてどう思っ



ったかなど、実際に非常食を食し、各グループで多くの意見を出し合い、テーブル発表を行った。

講師の小林氏・大塚氏は、鳥取県民は災害に対する認識が薄いのが現状だが、天災だけではなく、身近に起こりうる火事や事故などの災害に備えることが大事。そのためにも、防災マップなどを作成し、地域を知る事が大切。と強くお話しされました。こうした一人一人の取り組みが、災害から家族・企業を守ることに繋がることを、会員が再認識し、さらに意識が高まる例会となった。

（記事：吉田）

例会を終えて… 政治行政 委員会 委員長 古谷 一郎



まずは当日の内容が多かった為、ブレインストーミングの内容発表が全部出来なかったことをお詫びいたします。今回、9月例会に引き続き、地域防災をテーマに例会をさせていただきました。

講演にもありましたが、この西部地区は数字的には鳥取県内に於いて防災への意識が低く、取り組みへの参加が少ないのが現状です。今でこそ島根原発との兼ね合いで、意識は上がってきていますが行動には移せていないように思います。

今回の講演にて再度東日本大震災の映像を見て頂きましたが、とくに被災地でない私たちは、時がたてば災害に対して意識が薄れがちになっているように思います。今回体験して頂いたAEDにしても多くの方が使い方について知らないと思いますし、非常食にしてもいろいろな食品が出ています。これを知っていると知らないのでは大きな違いがあるのではないのでしょうか。

災害は大なり小なり必ず起こりうるものです。今期2回の政治行政委員会の例会で知って頂いた防災の知識の内容を、今後会員皆様の家庭や企業でぜひ話合ってください、防災に対して個々（自助）、地域（共助）に於いて何が出来るかを考え備えて頂ければ嬉しく思います。

はじめての例会



教育対策検討委員会 緒方恒人

はじめて例会に参加させて頂き、程よい緊張感の中いろいろ勉強させて頂きました。有難う御座居ます。まずはこの中央会の綱領にあります、英知・友愛・団結が実際に具現化されていた事に感動しました。河津会長のお話は脳の活性化(自己研鑽・英知)、白石委員長のお話では、新割りを通じての(社会奉仕・活動・友愛)に触れられていました。そして今回の例会のテーマでありました「明日はわが身！滅災の知識と蓄え」～あなたは災害から家族・企業を守れますか…では「地域防災とは」最終的には地域の団結の必要性を学びました。いざ災害になったときにはその前の予防として、いかに普段からの地域とのコミュニケーションが大切かを感じました。まだまだ分からないことばかりですが、一つ一つ勉強させて頂いて頑張らせて頂きますので、これからも宜しくお願い致します。



道州制問題検討委員会 倉光史朗

2月18日、私にとって初めての例会への参加となりました。全体の流れ・所作など、いろいろと教えていただき、先輩方を入口でお迎えました。

高校野球・大学野球時代の1年生の時のような、懐かしく、とても新鮮な気持ちになりました。例会の中では、皆さんの思い・情熱を肌で感じることができ、私自身ももっと成長していかなければと思いました。まだまだ分からないことも多くありますが、中央会を通じて日々成長していく自分でありたいと思っています。今後とも、よろしく願いいたします。



中央会OBを訪ねて

日成工業㈱代表取締役
和田秋男OB (第14期ご卒会)



今回は第12期会長 第14期ご卒会 日成工業有限会社代表取締役 和田秋男OBの職場へ伺いました。

まず初めに中央会へ入会されたきっかけを教えてくださいました。当時宮崎県から米子に移り住まれたという和田OBは、いろいろな方から中央会への入会を幾度となく勧められていました。これというきっかけも無く過ごしておりましたが、ある時「中央会ってどんな団体なんですか？」と先輩に質問したところ、綱領を見せられたそうです。それを見て、「なんと良い事が書いてある。まさにその通りだ。企業に置き換えてもそう。これは学ぶことも多いかも知れない」と感じたのがきっかけで入会を決意されたそうです。会の綱領は会社に置き換えると『企業理念』。そこがしっかりとしている中央会に魅力を感じられたそうです。また当時は異業種交流も盛んな時期でありましたが、米子・境港・西伯・日野といった市や町の垣根を超えた団体は無く、とても新鮮だったそうです。

次に中央会での一番の思い出について伺いましたところ、1986年に県の訪中団として中国へ行ったのが一番思い出深い

そうです。当時の中国といえば未知の文化圏であり、色々な不安を抱えながら出発した事。福州市青年連合会の方との意見交換をした事。行程中にOB御自身が誕生日を迎えられ皆にお祝いしてもらった事。列車で8時間も揺られて旅する中、同伴の先輩方と麻雀をした事。美味しい食事をしておなかを壊した事(笑)。当時のアルバムをめくりながら楽しかった思い出を振り返って頂きました。

最後に現役メンバーに対して一言頂きました。「時は金なりという言葉があるが、若いうちは時間を有効に使って。せっかく中央会に出るのだから少しでも何かを得て、より良い人間形成をすることが、ひいては会社の為になる。そのことを自ら感じて成長してほしい」「中央会には3つの責任がある。1つは管理責任。2つ目は自己責任。3つ目は共同責任。組織の中で大事なのは共同責任ではなく、1人1人が責任を持っていろいろな活動をする自己責任こそが今後の中央会に必要なこと。中央会に入会したなら役員になって、その中からリーダーシップを勉強しなさい。中央会では自分の足元を固めて、地域の発展等は二の次に。現役メンバーは是非とも頑張ってもらいたい」と熱く語られ、私も元気を分けて頂きました。取材当日も当時の手帳やアルバム等の貴重な資料を事前にご用意頂き、取材にも大変ご協力を頂きました。和田OB本当にありがとうございました。

(記事：竹谷・山崎)

卒会者 中央会の思い出を語る



谷口弘毅 会員

今朝6時に顔を洗いながら、「古谷委員長は、どんな気持ちで朝を迎えているんだろう？」とぼんやり考えました。本日は私の所属する、古谷委員長率いる政治行政委員会の担当例会でした。去年は委員長という大役を頂いておりましたので、一年前の担当例会当日を思い出し、少し胸が締め付けられました。

私は、30歳の時に関西から帰省して父の経営する建築業を手伝っていましたが、「このままでは何かをしなければ会社が潰れてしまう」と危機感を感じて39歳の時に中央会に入会しました。

もともと人の輪に入っていくのが苦手な性格だったので、最初は中央会に出席するのがとても億劫でした。そんな中、自分には絶対に出来ないと思っていた副委員長という大役をさせて頂いてもらい、それが自信となって少しずつ中央会が面白くなって行きました。



中央会に入っていなかったら、何週間も前からスピーチをするのに緊張したり、胸をしめつけられる様な体験は出来なかったと思います。

チームでトライアスロンに参加出来たのも、先輩方から教わった「飛び込む勇氣」がなければ出来なかった事だと思います。中央会に入会して沢山の先輩方と会員の皆さんから頂いたアドバイスが、これから自分が生きて行く為の財産です。

桐田照生 会員

平成14年2月に中央会に入会させて頂き、11年という月日が経ち、いよいよ卒会の時が近づいてきました。入会させて頂いた当初は右も左も分かりませんでした。とにかく行事にはスケジュールの許す限り参加させて頂きました。その頃は諸先輩方の背中を追うことだけで精一杯ではありましたが、毎回何かを得ようという思いで参加したことを思い出します。

この会で得た人と人とのつながりは、私にとって宝物です。日々の仕事をする中でも、目には見えないのですが、その張り巡らされた中央会ネットワークに何度も驚かされました。

ここ最近では仕事も忙しくなり、行事に顔を出せる機会が減ってしまい申し訳なく思っておりましたが、それでも会員皆さんの熱い気持ちが伝わってきました。

今後もこの素晴らしい中央会の一員であったことを誇りに思い、またここで得たたくさんの仲間とのつながりを大切にしてお過ごしていきたいと思っております。



お誕生おめでとう



永井 大晴くん

(永井拓未会員の第3子)

平成24年10月8日生まれ

10月8日に第3子の長男、大晴(たいせい)が誕生しました。大晴くん元気に生まれてきてくれてありがとうございます。2人のお姉ちゃんに負けたくない元気に育って下さい。大きくなったら野球をしましょう。